

児童心理司（基礎）Ⅱ

日 程

10月6日(火), 13日(火)【2日間】

対 象

- (1) 児童心理司
- (2) 心理職として採用された職員【定員80名】

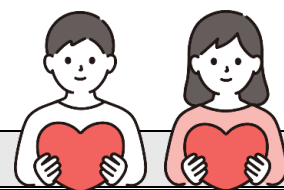
ねらい

児童心理司として求められる役割を理解するとともに、基礎的な知識・スキルを身につけ、面接・心理検査等を通じた子どもと保護者の状態の的確な把握、アセスメント及び他職種・他機関との連携によるケースへの対応力を習得する。

場 所

特別区職員研修所（千代田区九段北1-1-4 東京区政会館別館）

カリキュラム



10月	教科目・内容・講師名（敬称略）
6日 (火)	9:00～17:00 トラウマ・アタッチメント・逆境体験の影響と対応 トラウマやアタッチメントの課題、逆境体験が子どもの発達や行動、対人関係に及ぼす影響について理解を深めます。子どもの反応や行動の背景を捉える視点を学び、児童相談所におけるアセスメントと支援の考え方を学びます。 【講師】 総合母子保健センター 愛育クリニック 小児精神保健科 部長 小平 雅基
13日 (火)	9:00～17:00 WISC-Vを活用した子どものアセスメント それぞれの指標の意味とその結果のスコアからどのような特性が考えられるのかを理解するとともに、行動観察や日常での様子と重ね合わせた支援につながる活かし方を学びます。※実技講習会ではありませんのでご注意ください。 【講師】 放送大学 客員教授 大六 一志
計	14時間（2日間）